

## 主な内容

ページ

第56回 徳島駅伝鳴門市チーム総合優勝	2
鳥居記念博物館が3月末で閉館 活用法にご意見を	3
平成20年度決算報告 一般会計決算総額11%減少	4~6
DV被害者は法的保護の対象	7
申告は忘れずお早めに 3月15日まで	8
平成22年鳴門市成人式 707人門出を祝う	10~11
まちの出来事=瀬戸内四都市観光協が羽田でPRなど	12~13
情報ガイド=臨時職員募集・国民保護共同実動訓練など	14~18
すこやかライフ=新型インフルエンザ予防接種など	18~19



## 徳島駅伝の鳴門市チーム 一丸で勝ち取った完全優勝

県内の15郡市が健脚を競う、新春恒例の徳島駅伝が1月4日・5日・6日の3日間にわたって行われ、鳴門市チームが2年ぶり29回目の総合優勝を果たしました。今年は実業団を中心とした一般勢のほかに女子・中学総合でも優勝するなど、すべての選手が持てる力を発揮してタスキをつないだ完全優勝でした。

- 👉 ゴールのあと、胴上げされる石川主将
- 👈 中学生同士、岡村から笠原へたすきリレー
- 👇 「がんばれよ」大学生の西山から中学生の辻へ





力走する末吉

昨年逃した栄冠を奪還することを目指し臨んだ今年の大会は

## 1日目

昨年の雪辱を期すため、臨んだ今年の徳島駅伝。入念な準備が実り、全ての選手が自分の力を出し切り、たすきを次の選手へとつなぎ、素晴らしい結果を残しました。



松茂町・新加賀須野大橋の上で他選手と競り合う奥谷

最長・38区で山岡選手が区間新記録するなど5区間で区間賞。アンカー末吉選手は、残り2.5地点で足

## 3日目

西からの強風が向かい風となって選手達を襲った2日目、区間賞は一般の末吉、板倉の2選手だけでしたが、全選手が上位でたすきをリレーするなど、非常に安定した走りを見せ、2位に12分3秒差までその差を伸ばしました。

## 2日目

初日、2区で笠原(二中)が区間新でトップに立つと、山岡、山口ら一般選手が区間賞をとるなど1度も首位を譲らず、2位徳島市と4分31秒差で3年ぶりの初日トップに立ちました。



沿道から声援を送る子どもたち(大麻町板東)

# 3日とも安定した強さ

## 最終順位

(3日間の成績)

- ① 鳴門市 14時間3分3秒
- ② 徳島市 14時間18分43秒
- ③ 海部郡 14時間22分52秒
- ④ 小松島市 14時間28分54秒
- ⑤ 板野郡 14時間35分48秒



1日目、区間2位の好走をみせた岩川から出走2区間とも区間賞の郡へ

## 若い世代が有力選手に

今回は、中学・高校生のがんばりが目を引きました。市陸上協会などを痛めたにもかかわらずチームの力め走りきり、ゴールしました。鳴門は3日間とも1位を記録しました。

## 個人表彰

最優秀競技者

山岡 雅義 (大塚製薬)

優秀競技者

- 山口 勝司、片岡 祐介
- 板倉 具視 (以上大塚製薬)
- 西山 容平 (拓殖大学)
- 笠原 巧巳 (第二中学)
- 郡 茉衣 (鳴門中学)

## 山岡、2年連続MVP



チームの中で最多の14回連続の出場を果たしている山岡選手(大塚製薬)。中学生時代から連続して出場していましたが、今年はお出場の2区間とも区間賞を獲得。全区間で最長の38区(14.4km)では、今までの記録を26秒も縮める42分15秒の区間新記録を作りました。昨年に引き続き、エースとしてチームを引っ張りました。